

2023 年度 一般社団法人日本臨床化学会 評議員会議事録

日時 : 2023 年 10 月 28 日 (土) 8:30-9:10

会場 : 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall WEST

議長 : 三井田 孝 理事長

出席者数 79 名、議決権行使 54 名、委任状 12 名 計 145 名、全評議員数 167 名

議題 :

1. 開会の辞 (三井田 理事長)

- ・ 本会名誉会員である辻章夫先生、宮井潔先生への黙祷を行ったあと、理事長から開催のご挨拶があった。
- ・ 評議員 167 名中 79 名の出席、議決権行使 54 名、委任状 12 名の提出があり会議は成立した。

2. 第 63 回年次学術集会長挨拶 (吉田年次学術集会長)

- ・ 第 63 回年次学術集會会長の吉田先生からご挨拶があった。

3. 議事録確認者の指名 (三井田 理事長)

- ・ 大川理事、橋口理事が指名された。

4. 報告事項

1) 庶務報告 (吉田 理事)

① 学会会員現状報告

- ・ 2023 年 9 月 30 日時点で、正会員 1,490 名、正会員 (30 歳未満) 148 名、評議員 167 名となっており、会員数は増加している。
- ・ 有功会員の在り方が変わったため、有功会員数は減少した。

② 事業報告・事業計画

- ・ 2023 年 4 月以降、理事会のほか各種委員会など開催し、学会誌も順調に発行している。本評議員会以降も会議、学会誌発行などを予定している。

2) 常置委員会報告 (吉田 理事)

① 編集委員会報告

- ・ 学会誌は、52-1 号～52-3 号までを発刊した。
- ・ ACB の購読者数が減少しているため、購読料の差額を学会で負担している。是非、購読をお願いしたい。
- ・ 学会だよりの一部をニュースレターに移行する。
- ・ 投稿規定からミニレビューを削除する。

② 国際交流委員会報告

- ・ IFCC eNews に 2022 年度学会賞受賞者の紹介を掲載した。
- ・ Medical Laboratory Professionals Global Week に動画を掲載した。
- ・ 第 63 回年次学術集會で国際企画セミナーを開催。日本語のテロップをつけるので参加してほしい。
- ・ JSCC の海外発信として、年に 2 回発行されている APFCB News の第 2 号に、学生シンポジウムの受賞者に受賞演題の紹介と感想を寄稿して頂く予定。今後継続的に紹介原稿を依頼する。

③ 教育委員会報告

- ・ 2023 年度認定臨床化学者は、新規 10 名中 9 名、更新は 18 名全員が承認となった。次年度より申請要項の修正を行い、学生会員歴も正会員歴に含むこととした。

- ・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度の認定試験は、2024年1月21日（日）に、文京学院大学にて開催予定。更新申請は2019年度取得者が対象となる。
- ・指定講習会は今年からオンデマンド開催とした。

④ 学術連絡委員会報告

- ・集会・広報委員会からプロジェクトなどの活動報告を学会ホームページに掲載してほしいという依頼があり、委員会で共有した。
- ・各委員会からプロジェクトの進捗について報告があったが、期間内に終了していないことが多いため、今後内規の見直しを再度委員会内で検討する。
- ・2024年度日本臨床検査医学会（大阪）での共催シンポジウム担当は、リポ蛋白検査専門委員会に決定した。

⑤ 集会・広報委員会報告

- ・ホームページについて、専門委員会からの情報発信を依頼した。クオリティマネジメント専門委員会のバリデーションソフトは各所で活用されているが、理解不足で活用できていないことがある。ホームページに解説を掲載するなどして、活性化していきたい。

⑥ 学会賞選考委員会報告

- ・JSCC Student Award は応募者数 24 名中、日本臨床検査学教育協議会とともに抄録ベースでノミネート者を 10 名選出した。年次学術集会時に開催する学生シンポジウムでの発表をもとに審査委員による選定にて 5~6 名の受賞者を決定する。
- ・学会賞の技術賞の募集要項（応募資格）等について、一部改訂した。

⑦ 法務委員会報告

- ・利益相反アンケート調査を行った。回答率は 99.0% で未回答者は 2 名である。
- ・利益相反調査の設問について見直しを検討中である。回答する際、勘違いなどが無いよう、設問を精査して見直しをする。回答に同じ間違いがあれば Q&A に追加する。

⑧ あり方検討委員会報告

- ・理事長から、65 歳以上の会員に関する対策、医師会員の増加、支部会員・企業に所属する方の個人会員を増やすという 3 点について本委員会で検討してほしいという依頼があった。
- ・60 歳以上の会員について、学会への要望などに関するアンケートを実施し、継続していただくための策を検討する。

⑨ 若手育成委員会報告

- ・10月18日に第4回若手育成委員会全国勉強会を Zoom によるオンラインで行った。参加者数は約 200 名だった。
- ・若手委員の学術的向上を学会で補佐していくため、今後は支部との共同研究も検討。来年 3 月に近畿支部との合同で現地開催の勉強会を開催予定。
- ・参加者から、支部長からの若手会員参加を促すようなアナウンスが欲しいとの要望があり、今年からは支部長宛にも案内を配信している。
- ・新しいテーマがあればご提案いただき、若手会員を盛り上げていきたい。必要であれば予算を計上し、学会からも活動を補助する。

3) 支部報告（吉田 理事）

- ・9 支部とも活発に活動が行われている旨報告された。

4) 学会賞報告（三井田 理事長）

- ・今年度の受賞者は下記のとおり決定した。会員総会にて表彰式を行う。

「学会賞」 学術賞 1 名、奨励賞 2 名、論文賞 1 名、技術賞 1 社

- 5) Young Investigator Award (YIA) 報告 (三井田 理事長)
 - ・ 支部ごとに 1 名選出し、今年度の受賞者は 9 名となった。会員総会にて表彰を行う。
 - 6) JSCC Student Award 報告 (三井田 理事長)
 - ・ 今年度から選出方法を変更した。応募者の中から抄録を基に 10 名を選出し、学生シンポジウムのシンポジストに推薦した。年次学術集会当日、審査員が学生シンポジウムの発表について当日審査をし、5~6 名の受賞者を選出、会員総会にて表彰を行う。
 - 7) 認定関連報告 (三井田 理事長)
 - ・ 2023 年度認定臨床化学者の合格者ならびに認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者試験の詳細が報告された。対象となる方がいたら案内をしてほしい。
 - 8) 第 64 回年次学術集会報告 (山田 第 64 回年次学術集会長)
 - ・ 2024 年 8 月 30 日 (金) ~9 月 1 日 (日) に、ライトキューブ宇都宮 (宇都宮市) で開催する。テーマは「これからも面白い臨床化学」とした。
 - 9) 第 65 回年次学術集会報告 (伊藤 第 65 回年次学術集会長代理)
 - ・ 2025 年 11 月 7 日 (金) ~9 日 (日) に、ウインクあいち (名古屋市) で開催する。
 - ・ テーマは未定だが、産官学連携にフォーカスしたテーマを検討している。
 - 10) 第 66 回年次学術集会長選出について (吉田 理事)
 - ・ 集会・広報委員会、常務理事会、拡大理事会で審議の結果、北海道支部の恵 淑萍先生に依頼することが決定した。
 - 11) 遺贈に関する委員会設置について (三井田 理事長)
 - ・ 本会有功会員の故 須藤加代子先生から本会に宛てた遺贈について、ほぼ手続きが終了した。現時点で約 5,000 万円の寄付を想定している。
 - ・ 須藤先生のご意思で若手の育成に使ってほしいということだったので、委員会を新設し運用方法などについて検討を進めていきたい。ご意見があればご提案いただきたい。
5. 審議事項
- 1) 2024 年度予算案 (菅野 理事)
 - ・ 2024 年度の予算案について、収入の部、支出の部に関する詳細について説明があり、評議員会にて承認となった。
6. 閉会の辞 (三井田 理事長)
- ・ 理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以上

2023 年 11 月 15 日

一般社団法人日本臨床化学会評議員会

議長

三井田 孝



議事録確認者

大川 龍之介



議事録確認者

橋口 照人

